

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：国民健康保険費 目：国民健康保険指導費

事業名 診療報酬審査支払事務費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

康福祉部 国民健康保険課 国保支援係 電話番号：058-272-1111(内2642)

E-mail：c11218@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：5,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県国民健康保険団体連合会(以下「国保連」という。)は、県内の市町村国民健康保険及び国民健康保険組合保険者からの委託を受けて、保険医療機関から保険者への診療報酬請求の審査支払を主な業務としている。県は国民健康保険保険者として、医療費適正化の基本である正確で円滑な審査支払事務が行われるように国保連を支援する必要がある。

(2) 事業内容

補助金額の見直しを図りつつ、国保連に対して正確、円滑な審査支払事務が行われるよう国保連を支援している。

(3) 県負担・補助率の考え方

国保連が行う国民健康保険の診療報酬審査支払事務にかかる経費に対して、定額の補助を行う。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金	5,000	診療報酬審査支払事務費に対する定額補助
その他		
合計	5,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

静岡県、石川県、富山県、滋賀県など12都道府県において、同趣旨の補助事業を実施している。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	診療報酬審査支払事務費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県国民健康保険団体連合会 （理由） 国民健康保険診療報酬の審査支払に関する事務の円滑かつ健全な運営を図るため、岐阜県国民健康保険団体連合会（以下「国保連」という。）が行う事業に要する経費に対し、交付する補助金であるため。
補助事業の概要	（目的） 診療報酬審査支払事務の円滑かつ健全な運営を図る。 （内容） 診療報酬審査支払事務に要する管理費及び審査委員会費を補助するもの
補助率・補助単価等	定額 （内容） 5,000千円 （理由） 平成22年度に決定した定額の補助額である。それ以降、国保連の行う審査支払事務の状況に大きな変化はないため。
補助効果	診療報酬審査支払事務の円滑かつ健全な運営に資する。
終期の設定	令和5年度 （理由） 終期時点で一旦補助効果を検証するために設定する。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>高齢化の進展や医療技術の向上に伴い、高額請求等の審査業務の高度化、効率化への取組みが求められるため、国保連が行う正確かつ円滑な審査支払事務を支援する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (S30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
①審査支払件数	不明	7318230	7753146	7619764	不明	100%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	5,000	5,000	5,000

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 医療の高度化による高額な診療報酬請求に対する審査の充実強化や特定の手術を対象とした審査の拡充を図るとともに、各種のシステムチェック機能を活用した効率的かつ効果的な審査支払業務の実施を支援した。
	指標① 目標： <u>7,225,439</u> 実績： <u>7,318,239</u> 達成率： <u>100</u> %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	高齢化の進展や医療技術の向上に伴い、高額請求等の審査業務の高度化、効率化への取組みが求められるため、正確、円滑な審査支払事務が行われるように国民健康保険団体連合会を支援する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	審査内容の拡充や算定ルールの項目追加など取組み内容を充実させ、正確、円滑な審査支払事務が実施されている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	国民健康保険保険者に対する業務支援の充実、強化を図るための国保総合システムの安定稼働に加え、審査内容や審査体制の見直しを行うことで、事務の効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 社会保障制度改革の動向を踏まえながら、正確、円滑な審査支払事務が確保されるべく、国民健康保険制度に基づく事業運営等に関する指導、助言を行っていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 高齢化の進展や医療技術の向上に伴い、高額請求等の審査業務の高度化、効率化への取組みが求められるため、正確、円滑な審査支払事務が継続されるように国保連に対する支援を継続していく必要がある。
